# 令和7年11月14日実施 北陸信越運輸局 法令試験問題 解答用紙

### 問1

1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	
31	32	33	34	35	

## 問2

А	В	С	D	Е	

## 令和7年11月14日 北陸信越運輸局法令試験問題

- 問1 次の文章のうち正しいものには〇印を、誤っているものには×印を解答用紙に記入 してください。
  - 1. 道路運送法の目的には、公共の福祉を増進することが含まれています。
  - 2. 道路運送法では、一般乗合旅客自動車運送事業、一般貸切旅客自動車運送事業及び 一般乗用旅客自動車運送事業の3つの旅客自動車運送事業を、一般旅客自動車運送事 業と規定しています。
  - 3. 1年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から1年を経過した者であれば、個人タクシー事業の許可を受けることができます。
  - 4. タクシーの運賃料金メーター器が故障したため新しいメーター器に変更する場合、 運賃及び料金の変更認可の手続きは必要ありません。
  - 5. 道路運送法の規定では、運賃又は料金の割り戻しはやむを得ない事由があっても禁止されています。
  - 6. 一般乗用旅客自動車運送事業の運送約款には、少なくとも運賃及び料金の収受並び に事業者の責任に関する事項が明確に定められていなければなりません。

  - 8. 営業区域内にある自宅を主たる事務所及び営業所としていた個人タクシー事業者が、 当該自宅を増築した場合、主たる事務所及び営業所の位置に変更がなくても広さが変 更となったので、事業計画変更の手続きが必要です。
  - 9. 営業区域外で乗車した旅客であっても、着地が事業者の営業区域内であれば、道路 運送法違反ではありません。
- 10. 個人タクシー事業者は、運行の管理を自ら行わなければなりませんが、運行管理者の資格を取得する必要はありません。

- 11. 一般旅客自動車運送事業者は、その名をもって他人に事業を貸し渡してはならない ことが規定されているが、個人タクシー事業者については当該規定は適用されません。
- 12. 個人タクシー事業者が許可に付された条件に違反したときは、6月以内において期間を定めて自動車その他の輸送施設の当該事業のための使用の停止を命ぜられることがあります。
- 13. 旅客自動車運送事業運輸規則では、個人タクシー事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受けたときは、いずれの者に対しても、遅滞なく弁明しなければならないと規定されています。
- 14. タクシー事業者は、旅客の請求に応じ運賃又は料金の額を記載した領収証を発行した場合、その発行枚数を業務記録に記録しなければなりません。
- 15. 行き先を告げることもできない泥酔者であって、他の旅客の迷惑となるおそれのある者に対しては、運送の引受けを拒絶することもできます。
- 16. タクシー事業者は、身体障害者補助犬を連れた旅客に対して、運送の引受けを拒絶することはできません。
- 17. タクシー事業者は、旅客を運送中に事故により運行を中断したときは、当該旅客を 出発地まで送還するなどの適切な処置により旅客を保護しなければなりません。
- 18. 業務の開始及び終了の地点及び日時並びに主な経過地点及び業務した距離は、業務記録に記録しなければなりません。
- 19. タクシー車両には、地方運輸局長の指定する規格に適合する地図を備えておかなくてはなりませんが、カーナビゲーションシステムが装着されている場合は、当該地図を備えておく必要のないことが旅客自動車運送事業運輸規則に規定されています。
- 20. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車内に自動車登録番号等を表示しなければなりません。
- 21. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に応急修理のために必要な器具及び部品を備えなければ、当該事業用自動車を旅客の運送の用に供してはなりませんが、運送の途中において当該事業用自動車に故障が発生した場合に、これらの器具及び部品を容易に供給することができるとき、又は旅客の運送を容易に継続することができるときは、当該事業用自動車を旅客の運送の用に供することができます。

- 22. タクシー事業者は、タクシー車両を常に清潔に保持するほか、毎月2回以上清掃しなければなりません。
- 23. 迎車又は無線待機の状態において、タクシー運転者は「回送板」を掲出することはできません。
- 24. 個人タクシー事業者の場合、1年間に乗務する日数を予め定め、行政庁に届け出なければ運行はできないことになっています。
- 25. 個人タクシー事業者の「輸送実績報告書」は、前年4月1日から本年3月31日の1年間の実働日数、走行キロ、運送回数等を報告するものです。
- 26. 旅客自動車運送事業等報告規則の規定では、輸送実績報告書の事故件数については、 自動車事故報告規則に基づく自動車事故報告書を提出すれば記載する必要はありませ ん。
- 27. 一般乗用旅客自動車運送事業の標準運送約款には、禁煙車両(禁煙車である旨を表示した車両)内では、旅客は喫煙を差し控えてもらう旨が規定されています。
- 28. 期限更新日において年齢が満65歳以上の個人タクシー事業者は、当該期限更新の申請前に、旅客自動車運送事業運輸規則に定めるところによる高齢者に対する適性診断を受診しなければなりません。
- 29. 身体障害者割引及び遠距離割引の割引条件に該当する場合は重複して適用するものとしますが、身体障害者割引及び知的障害者割引の割引条件に該当する場合は割引の重複はできません。
- 30. 営業的割引は、主に需要喚起を目的として設定される運賃の割引(公共的割引及び遠距離割引を除く。)であって、利用者間に不当に差別的取扱いをするものでなく、かつ、他の事業者との間に不当な競争引き起こすおそれがないと認められる場合に設定することができます。
- 31. 自動車の使用の本拠の位置に変更のあった場合、道路運送車両法の規定に基づきその事由があった日から15日以内に変更登録の申請をしなければなりません。
- 32. 事業用自動車の使用者は、道路運送車両法の規定に基づき六ヶ月ごとに当該自動車 の定期点検整備を行わなければなりません。
- 33. 道路運送法の規定に基づく「事業の休止」中は、道路運送車両法の規定する継続検査ができません。

- 34. 自動車点検基準に規定する日常点検基準においては、タクシー車両のウインド・ウォッシャ及びワイパーについては、走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に行えばよいこととなっています。
- 35. 自動車事故報告規則の規定では、旅客自動車事業者は、自動車が転覆・転落し死者 又は重傷者を生じる事故を引き起こした場合には、30日以内に自動車事故報告書を 提出するほか、電話等の適当な方法によって24時間以内にその事故の概要を営業所 の位置を管轄する運輸支局長に速報しなければならないこととなっています。

問2 次の〔 〕にあてはまる言葉を下の語群の中から選び、解答用紙に記号を記入してください。

#### 〇旅客自動車運送事業運輸規則

(目的)

第一条 この省令は、旅客自動車運送事業の適正な [ A ] を確保することにより、 輸送の安全及び [ B ] の利便を図ることを目的とする。

#### (一般準則)

- 第二条 旅客自動車運送事業者(旅客自動車運送事業を経営する者をいう。以下同じ。) は、安全、確実かつ[ C ] に運輸を遂行するように努めなければならない。
- 2 旅客自動車運送事業者は、旅客又は [ D ] に対して、公平かつ [ E ] な取扱いをしなければならない。
- 3 略
- 4 略

ア	堅実	1	発達	ウ	迅速	エ	乗客
オ	経営	カ	公衆	+	運営	ク	発展
ケ	良好	⊐	懇切	サ	お客	シ	健全
ス	旅客	セ	的確	ソ	運行		

## 令和7年11月14日実施 北陸信越運輸局 法令試験問題模範解答

※ この模範解答は運輸局が公式に発表したものではなく、日個連東京都営業協同組合組織維持対策室にて判断・作成したものです。運輸局の見解とは異なる場合もあり得ますので、予めご了承下さい。

#### 問1

1	<b>O</b> 運1	2	<b>O</b> 運3	3	<b>×</b> 運7	4	<b>O</b> 運9-3	5	<b>O</b> 運10
6	<b>O</b> 運11	7	<b>O</b> 運13	8	<b>×</b> 運15ほか	9	<b>O</b> 運20	10	<b>O</b> 運23
11	<b>×</b> 運33	12	<b>O</b> 運40	13	<b>×</b> 輸3	14	<b>×</b> 輸10	15	<b>O</b> 輸13
16	<b>O</b> 輸13+52	17	<b>O</b> 輸18	18	<b>O</b> 輸25	19	<b>×</b> 輸29	20	<b>O</b> 輸42
21	<b>O</b> 輸43	22	<b>×</b> 輸44	23	<b>O</b> 輸50	24	<b>メ</b> 規定なし	25	O 報告様式
26	× 報告様式	27	<b>O</b> 約款4-2	28	O 期限更新	29	O 運賃制度	30	O 運賃制度
31	<b>O</b> 車12	32	<b>×</b> 車48	33	<b>×</b> 運38+車62	34	O 点検別表	35	<b>O</b> 事故2+3+4

#### 問2

А	+	В	ス	С	ゥ	D	カ	Е	٦	
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

- 新型設問はありません。句読点や送り仮名の違いは既出扱いです。
- 3 は旧条文ですが、どちらにしろ×なので従来通りの扱いです。(令和7年6月1日改正)
- 35 は「旅客自動車事業者」になっていますが、原文通りです。